



菅原 隆文

(よねしろ・立志会)

### 合併10年目、エネルギーのまちの可能性は

**質** 来年は合併10年目、一番の課題の人口減少をとめるためにも産業振興が急務。地域が生き残るために核として取り組んでいる「エネルギーのまちづくり」、将来の見通しは。

**答** 現在、計画が進められている風力発電施設の大きなロットが確保されることで、設備や部品工場創出の可能性が生まれ、地域活力の向上が図られることから、「エネルギーのまち」の実現に向け、再生可能エネルギービジョンに示した戦略にしっかりと取り組んでいきたいと考えている。

### 都市計画道路萩の台線、拡幅整備の検討を

**質** 幅員18メートルの萩の台線、幹線ではないが便利なので大型車両も含め朝夕大変な交通量。通学路でもあるが歩道が片側で自転車も多く大変危険。拡幅整備すべきでないか。

**答** 萩の台線を含め都市計画道路については、計画決定から長年未整備となっている路線もあり、現在の社会情勢や交通量の変化等から計画の見直しが必要であると考えている。この区間は通学にも利用されており、学校からの意見や米代西部森林管理署との協議を行いながら、どのような手法があるか検討していきたい。

#### その他の質問事項

- 消滅可能性都市と示されたこと
- バイオマスやCLTの取り組み
- 国への要望と国会議員のあり方



安井 和則

(希望)

### 今後の二ツ井町地域自治区

**質** 地域自治区の期間終了後、二ツ井地域のよりよいまちづくりについて地域の声を市政に反映させることを目的とした地域自治区は期間延長を含めてどうするか。

**答** 来年度に迫った地域自治区の設置期限を見据え、方向づけを図っていく必要があることから、地域協議会においても、二ツ井地域のまちづくりの観点から検討していただく。今後、地域協議会及び議会の意見等を伺いながら、来年度のできるだけ早い時期に、地域自治区の存廃について方向づけたい。

### 人口減少と若者の働く場の確保

**質** 地元企業の育成を初め、企業誘致や国の研究機関の誘致等、若者が希望を持って働ける場の確保対策と合わせて、人口減少対策に特化した新たな課または部署を立ち上げては。

**答** 現在、庁内に設置した「人口減少問題庁内検討会議」で検討を進めており、27年度中に能代市版の「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定したい。この中で、今後の対策のあり方や必要性を判断した上で、組織の見直しや人員配置について、柔軟かつ適切な対応をしていきたい。

#### その他の質問事項

- 二ツ井庁舎の今後の体制は
- 仮称「道と川の駅ふたつ」は



小林 秀彦

(日本共産党)

### 米価下落の対策

**質** 今年のあきたこまちの概算金は、1俵9千円と過去最低となり、農家から悲鳴の声が上がっている。米づくりも地域経済も崩壊しかねない。米農家に対して助成策は。

**答** 減収が見込まれる農業者を対象に運転資金を無利子で融資する県の稲作経営安定緊急対策資金について、市が保証料を補助するための予算を11月臨時会で予算措置している。

### 福祉灯油の実施

**質** 消費税増税や物価高の中で燃油価格の高騰はますます市民の生活を苦しめている。高齢者、低所得者等に冬期暖房に必要な灯油購入費の一部助成をできないか。

**答** 政府は経済対策として、地方自治体がそれぞれの実情に応じて自由に使える交付金を創設する方針を固めているとの報道がされている。交付金の使途としては、低所得者等がガソリンや灯油の購入補助として使用できるクーポン券の発行等が挙げられており、今後の動向を注視し、対応していきたいと考えている。

#### その他の質問事項

- 庁舎整備事業
- イオン出店
- 観光拠点施設の整備と大型七夕